

平成 30 年 12 月 10 日

平成 33 年度学士課程入試の方針について

高知工科大学 入試センター

次のとおり、平成 33 年度学士課程入試の方針について公開します。

1 趣旨

平成 33 年度入試（現高校 1 年生）から、大学入試センター試験に代わり大学入学共通テストが導入されます。また、同年度入試において、入試区分の名称の変更、民間の英語検定試験の導入など、多様な変更が予定されています。

受験生の皆様に十分な準備をしていただきたく、平成 33 年度学士課程入試について、その方針を公開します。

2 入試区分名称の変更

【変更前】 → 【変更後】

AO入試 → 総合型選抜

一般入試 → 一般選抜

推薦入試 → 学校推薦型選抜

推薦入試 → 学校推薦（一般区分）

特別推薦入試 → 学校推薦（スポーツ区分）

推薦特待生入試 → 学校推薦（特待生区分）

推薦入試（センターあり） → 学校推薦（共通テスト区分）

3 入試日程（予定）

（1）一般選抜・学校推薦型選抜

入試区分	出願期間	個別学力検査等	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	平成33年2月25日(木)	平成33年3月3日(水)	平成33年3月4日(木)～平成33年3月11日(木)
	後期日程	平成33年3月12日(金)	平成33年3月23日(火)	平成33年3月24日(水)～平成33年3月27日(土)
学校推薦型選抜	学校推薦(一般区分)	平成32年11月22日(日)	平成32年12月1日(火)	平成32年12月2日(水)～平成32年12月9日(水)
	学校推薦(スポーツ区分)			
	学校推薦(特待生区分)			
	学校推薦(共通テスト区分)	平成32年12月14日(月)～平成32年12月18日(金)	なし	平成33年2月11日(木)

※すべての選抜区分において、出願および入学手続期間は締切日17:00必着。

※合格発表の時刻は、原則午前10時とする。ただし、不測の事態が発生した場合はこの限りでない。

※公立大学協会の通知により変更の可能性がある。

(2) 総合型選抜

システム工学群・情報学群

学群・募集区分		出願期間	選考	合格発表日	入学手続期間
システム工学群		平成32年9月7日(月)	平成32年10月10日 (土)・11日(日)の両日 ※1	平成32年11月2日(月)	平成32年11月3日(火)
情報学群	A区分	~			~
	B区分	平成32年9月14日(月)			平成32年11月10日(火)

※1：志願者数によっては1日のみで実施する場合がある。その場合は受験票の通信欄等を利用して通知する。選考日の翌々週の土日（10月第4）を予備日とする。

経済・マネジメント学群

学群・募集区分		出願期間	第1次選考	第1次選考 結果通知	第2次選考 学力検査等	合格発表日	入学手続期間
経済・マネジメント 学群	数学区分	平成32年9月7日(月)	/	/	平成32年10月10日(土) ※1	平成32年11月2日(月)	平成32年11月3日(火)
	英語区分	~					9月中旬
	スポーツ区分	平成32年9月14日(月)			平成32年10月10日 (土)・11日(日)の両日 ※1		平成32年11月10日(火)

※1：第2次選考の詳細については、第1次選考結果とともに対象者に通知する。選考日の翌々週の土日（10月第4）を予備日とする。

(3) 編入学試験

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
平成32年5月29日(金)~平成32年6月5日(金)	平成32年6月28日(日)	平成32年7月2日(木)	平成32年7月3日(金)~平成32年7月10日(金)

(4) 社会人特別選抜

出願期間	第1次選考 書類審査	第1次選考 結果通知	第2次選考 面接	合格発表日	入学手続期間
平成32年9月7日(月) ~ 平成32年9月14日(月)	9月中旬	平成32年9月29日(火)	平成32年10月10日(土)	平成32年11月2日(月)	平成32年11月3日(火) ~ 平成32年11月10日(火)

3 募集人員

学群		システム工学群	環境理工学群	情報学群	経済・マネジメント学群	
入学定員		170	90	100	160	
募集人員	一般選抜	前期日程 A方式	80	50	40	40
		前期日程 B方式	20		10	20
		前期日程 C方式				15
		後期日程	20	15	10	15
		社会人特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名
		計	120	65	60	90
	学校推薦型選抜	学校推薦(一般区分)	10(10)	15(5)	若干名	50(30)
		学校推薦(スポーツ区分)				若干名
		学校推薦(特待生区分)	若干名	若干名	若干名	若干名
		学校推薦(共通テスト区分)		10(5)		
		計	10(10)	25(10)	若干名	50(30)
総合型選抜	総合型選抜	40(20)		40(25)	20(10)	

※ ()内は高知県内高等学校枠、内数

※ 合否は志望学群ごとに判定します。

4 総合型選抜と学校推薦型選抜の主な変更点

(1) システム工学群

平成 32 年度入試から変更ありません。

(2) 環境理工学群

平成 32 年度入試から変更ありません。

(3) 情報学群

平成 32 年度入試まで実施する推薦入試（若干名）について、廃止します。

※平成 32 年度入試の変更点については、下記のホームページにて確認できます。

https://www.kochi-tech.ac.jp/entrance_info/admission/info_before/post_1.html

(4) 経済・マネジメント学群

●カテゴリー変更にもなう県内枠の再整理

平成 32 年度入試まで、経済・マネジメント学群の特別選抜（AO・推薦）において、全体 70 名の募集のうち 40 名を県内枠としています。平成 33 年度入試からは特別選抜という枠はなくなり、総合型選抜と学校推薦型選抜という 2 つのカテゴリーとなります。このことから次のとおり県内枠を整理しなおします。

変更前：特別選抜（AO・推薦）：70（40）名

↓
変更後：総合型選抜：20（10）名・学校推薦型選抜：50（30）名

●学校推薦（一般区分）・（スポーツ区分）

面接試験に口頭試問を含みます。周知内容は以下のとおりです。

学校推薦書・志望理由書・調査書を資料とし、複数の面接担当者による個別面接（30分程度）を行う。ただし、出願者が多い場合、集団面接に変更することがある。
なお、基礎知識を問う口頭試問（社会の話題を扱った文書・グラフ等を提示し、それを踏まえて自由に意見を述べる）を実施し、議論を進めます。

●総合型選抜

総合型選抜の英語区分について、選抜方法等を次のとおり変更します。数学区分とスポーツ区分は平成32年度までと同様の内容で実施します。

選抜方法（英語区分）：

- 平成32年度入試までは、第2次選考において、英語の4技能を評価するために本学独自の英語能力検査を実施します。平成33年度入試からは、共通テスト（英語）に民間団体が実施する検定試験が導入されることから、総合型選抜においても、これを利用することで、英語の4技能を評価することが可能となるため、本学独自の英語能力検査は課さないこととします。
- これまで日本語のみで実施していた面接試験について、英語の質疑応答を含む面接試験に変更し、さらに正確な評価を可能とします。また、面接試験時間を10分延長し、40分程度とします。
- 面接・書類（民間団体が実施する検定試験の結果を含む）の配点を200点とします。

旧：第1次選考合格者を対象とし、英語能力検査、面接（30分程度）、提出書類の総合判定
英語能力検査（100点）、面接・書類（100点）

↓

新：第1次選考合格者を対象とし、面接（40分程度、英語の質疑応答を含む）、提出書類の総合判定
面接・書類（民間団体が実施する検定試験の結果を含む）（200点）

提出書類：

旧：調査書、志望理由書（英語及び日本語：各A4 1枚）

↓

新：調査書、志望理由書（英語及び日本語：各A4 1枚）、
民間団体が実施する英語検定試験の成績等証明書（※1・※2）

※1 民間団体が実施する英語検定試験の成績証明書は、平成30年4月以降に成績を収めたもので、いずれもスコア等が記載された原本（公式）の提出を要する。

※2 民間団体が実施する英語検定試験については、大学入試英語成績提供システムへの参加が認められたものに限る。

5 一般選抜

(1) 大学入学共通テストの評価の方針

●国語

共通テストにおけるマーク式部分と記述式部分の両方を評価します。

●数学

共通テストにおけるマーク式部分と記述式部分の両方を評価します。

●外国語（英語）

民間団体が実施する検定試験と共通テストの両方を評価対象とします。

(2) 民間団体が実施する英語検定試験の評価の方針

●民間団体が実施する検定試験と共通テストの両方を評価対象とします。

●大学入試英語成績提供システムに参加認定されており、大学入試センターから本学に直接成績提供されるものについて、すべての検定試験を評価対象とします。

(3) 評価方法と配点

現在継続して検討しております。平成32年度前期を目処に公表予定です。